
Facebookツアー～シドニー旅行2016

1. 檜縁

地域の連絡網としてやむを得ず始めたFacebook。当初は地域活動の進捗状況を知るためだけの利用でしたが、大学、四国観光、バドミントン、ラグビーと広がり、各種コミュニティから最新の情報を得られるようになりました。特にラグビー関係は、京都の清華園という元祖スクールウォーズで有名な中華料理店のマスターと繋がったおかげで、たくさんのご縁に恵まれました。

楕円形のラグビーボールの形から、これを檜縁と呼んでいます。今回の旅は、そんな檜縁から大きく膨らみました。



2. シドニー (Sydney)

ラグビーの国際試合を観戦して、お誕生日はサザンクロスの下で乾杯なんて考えた結果がシドニー。檜縁繋がりで現地在住の人が居るから、何かアドバイス貰おうと連絡したのが発端で、ラグビー観戦を一緒にすることから始まって、観光プランを立てるだけでなく、ご案内いただけるとか。こちらは、日本からの荷物運び(炊飯器とか包丁とかで、決して怪しいものではありません。)を請負いましたが、可能な限りお付き合いいただけるなんて話がトントン拍子で進みました。ホント、お仕事大丈夫ですかと思うぐらい時間を割いていただき、ラグビーの檜縁から、素晴らしいシドニーの旅を体感できました。





3. ノースシドニー (North Sydney)

初日は、ダーリングハーバーにご挨拶。そして、Facebook友達と初対面というか、今回の旅のhero(ヒーロー)として私たちの前に現れてくれました。椿縁というか、元伏見工業の2番から2番への申し送りからの～ご案内。

ホンダ・シビックで、海岸線に沿って、Palm Beach～Whale Beach～Manlyとパックスツアーでは行けない風景を楽しめる場所をドライブです。途中、入り江が見える素敵なレストランでランチタイム。人気ドラマの撮影クルーと出会い、サーフィン発祥の地に足を踏み入れ、シドニー湾に入ってきたクジラも発見。

夜は、オージースタイルのバーベキューで大盛り上がり。かつてレストランにお勤めされていたheroさんこだわりの焼き方で、オージービーフとサラダバーを満喫です。





4.カイヤマ(Kiama)

続いては、いつも観光ポイントとして候補に上げるも、交通手段等の問題で訪問できなかったカイヤマまで連れて行って貰いました。美しい海岸線と、ブローホールから吹き上がる噴水(潮?波?海水?)を見学。





解説によると、上方にある灯台の高さまで吹き上がるとかで、ぜいたくに時間を使って見学。途中、サドルバック・マウンテンなる山の上から周辺を展望、もう一つの噴出口にも近づいて、海にせり

出す道路橋を渡る。

私たちだけでなく、遠距離を運転してくれたheroさんのテンションも上がります。夜も、疲れを知らないheroさんと一緒に、観光客が足を踏み入れない、BYOのイタリアンレストランで乾杯。こんなに楽しくて良いんでしょうか。

5.ブルーマウンテンズ(Blue Mountains)

この日は、お代官様のバースデー。訪問先のリクエストは、シドニーの観光地のメジャーリーグのブルーマウンテンズ。スリーシスターズのあるカトゥンバも良いけど、少し奥のBlackheathまで足を伸ばします。

いわゆるテーブル・マウンテンという形の、山々を見学。なんちゃらルックアウトなんていう展望所を巡ります。断崖絶壁の岩、ユーカリの森、陽に照らされて放射される水蒸気がブルーに輝く、高度差のある滝、川の流れと、オーストラリア大陸の本気を見せて貰いました。





この日のサプライズは、初雪。寒いって聞いていましたが、霧雨がみぞれに変わり、雪が積もりました。都会のシドニーは、雪が降らないそうで、たまたま雪に遭遇した地元の女の子が大喜び。ファーストタイムなんて叫びながらはしゃぎ回っていました。シドニー生活の長いheroさんもテンションあげあげ。写真撮りまくりの大フィーバーです。



渋滞を抜けて市内へ。夜は、サザンクロスを眺めながら、ダーリングハーバーのシーフードレストランで乾杯。ナチュラルオイスター(生牡蠣)を美味しくいただいて、heroさんからも素敵なバースデープレゼントをいただいて、楽しい誕生日になりました。



6. オージースタジアム (Sydney Football Stadium)

市内中心部、ハイパークを散歩して、ショッピング。ラグビーパブから、heroさんのご案内で、セントラルからバスに乗って、オージースタジアムへ。国際試合開催日にふさわしく周辺はビール片手にカーニバル。こちらでは、ワラビーズ(オーストラリア代表)対イングランド代表の試合が開催です。注目は、W杯で奇跡を呼び込んだ前ジャパン監督、エディー・ジョーンズさん。W杯では、開催国でありながら決勝トーナメントに進出できなかったイングランド代表を改革。ヨーロッパの6ネーションズで優勝、負け知らずの強いイングランドを復活させました。オーストラリア遠征もここまで2連勝。常勝エディー・イングランドが無傷で帰国するか、ワラビーズが一矢報いるか。個人的には、イズラエル・フォラウが、可愛い笑顔でトライを決めるかで、当然、ワラビーズのゴールデンカラーのジャージを着て観客席に座ります。





結果は、大接戦も4点差でワラビーズ敗戦。帰り道では、イングランドサポーターと「スイングロー」を合唱して国際交流に花を咲かせます。

7.ハンターバレー (Hunter Valley)

最終日はheroさんリコメンドのワイン・テースティングツアー。レストラン経営を夢見て神奈川県から留学中のレディーも一緒に、北へ2時間。オーストラリアで最も長い歴史を誇るワインの産地へ向かいます。

有名なのは、白ワイン。ガイドブックによれば、ここでは、シラーズ、セミヨン、シャルドネ、カベルネ・ソービニオン、ヴェルディーリオなど多種類のブドウからもワインを生産しています。ワインセラーに入っ
て、味見(テスト)して、気に入ったワインがあればお買い上げという段取りで数か所をハシゴしま
す。オードリー・ウイルキンソンなんて老舗から家族経営まで、150か所ぐらいのセラーがあるそう
で、我が家では、香り高いもの、オーガニックなもの、デザートワインと呼ばれるものをセレクト、お持
ち帰りです。





ランチは、ワインが進むレストラン。帰り道では、野生のカンガルーと遭遇して、オーストラリア大陸に感動です。



8. 橋縁に感謝

今回のシドニーは橋縁から、通常のお仕事を深夜や早朝に回して、時間をやりくりして毎日、私たちにお付き合いいただいたheroさんに感謝。また、オーストラリアが好きになりました。さてさて、次の訪問は？



ブルーマウンテンズでは、初雪に遭遇しましたが、日々天気にも恵まれ、人に恵まれ、運のよい滞在期間になりました。帰りのJALも、当初プレミアムエコノミーのチケットを購入しましたが、空席が多かったのか、ビジネスクラスにグレードアップ。座席は、セパレートタイプで、フルフラットにすれば、完全に横になって眠れます。ビデオ画面も、大きいし、シャンペンで歓迎、食事もお割烹料理みたいな

演出で、先付、八寸、メイン、デザートって勢いで、釜焚きホカホカごはんにお味噌汁なんて、飛行機の中とは思えないほどの豪華版。アルコールも飲み放題だし、小腹が空いたら選べる軽食(カレー、パスタ、ラーメン、カップうどん、鯖西京焼き&ごはん、チーズ盛り合わせ、アイスクリームなどなど)でおもてなしですから、王者の気分。快適な移動で大いに満足、ハッピーデイズでした。



それでは、楽しい旅に感謝して、アドバ〜ンス・オーストラ〜リア・フェア〜！



2016年7月1日記(旅は2016年6月21日〜27日)

Top

[トップ](#)
[↑](#)

Back

[戻る](#)

[20年連続～ケアンズ旅行](#)
[2018](#)